

家計改善の手引き

(資料編)

NPO法人いわて生活者サポートセンター

平成22年3月

目 次

第1章	調査の目的と調査の流れ	5
1	調査の目的	5
2	調査の流れ	5
第2章	アンケート提出者の実像	5
1	家族構成	5
2	アンケート記入者	5
3	本人の年齢	5
4	第1子の就学状況	5
5	職業	6
6	健康状態	6
7	本人の最終学歴	6
8	配偶者の最終学歴	7
9	現在の住居の状況	7
10	現在の自動車の保有状況	7
11	家族の収入の把握状況	8
12	家族の支出の把握状況	8
13	夫婦の家計管理のタイプ	8
14	公的年金の加入状況	8
15	水道料金の支払い	6
16	電気料金の支払い	6
17	ガス料金の支払い	6
18	電話料金の支払い	7
19	固定資産税の支払い	7
20	所得税・住民税の支払い	7
21	家賃の支払い	5
22	家計簿の記帳状況	5
23	クレジットカードの保有状況	5
24	クレジットカードで買い物をする事への抵抗感	5
25	どのようなものをクレジットカードで購入しているか	6
26	相談時と比較しての家計の改善状況	6
27	相談時と比較しての配偶者や家族との関係	6
28	家計の良くなった理由	7
29	家計が悪くなった理由	7
30	相談時と比較しての貯蓄の増減	7
31	貯蓄を増やすために注意したこと	5
32	貯蓄が増えなかった理由	5
33	相談時と比べた変化	5

3 4	相談時と比べて支出が増えた項目	5
3 5	今後の生活で不安に感じていること	6
3 6	暮らし向きについて総合的にどう見ているか	6
3 7	収入状況	6
3 8	世帯人数調整済み一人当たり世帯所得	7
3 9	自由回答	1 5
第3章	クロス分析	1 8
1	家計の改善状況と年代の対比	5
2	家計の改善状況と学歴の対比	5
3	家計の改善状況と配偶者の学歴の対比	5
4	家計の改善状況と第1子の通学している学校との対比	5
5	家計の改善状況と相談時の住居との対比	5
6	家計の改善状況と現在の住居との対比	5
7	家計の改善状況と相談時の自動車保有との対比	5
8	家計の改善状況と現在の自動車保有との対比	5
9	家計の改善状況と家族全員の収入状況の把握との対比	5
1 0	家計の改善状況と家族全員の支出状況の把握との対比	5
1 1	家計の改善状況と家計管理のタイプとの対比	5
1 2	家計の改善状況と水道料金の支払いとの対比	5
1 3	家計の改善状況と電気料金の支払いとの対比	5
1 4	家計の改善状況とガス料金の支払いとの対比	5
1 5	家計の改善状況と電話料金の支払いとの対比	5
1 6	家計の改善状況と固定資産税の支払いとの対比	5
1 7	家計の改善状況と所得税・住民税の支払いとの対比	5
1 8	家計の改善状況と家賃の支払いとの対比	5
1 9	家計の改善状況と家計簿の記帳状況との対比	5
2 0	家計の改善状況とクレジットカード保有状況との対比	5
2 1	家計の改善状況とクレジットカードへの抵抗感との対比	5
2 2	家計の改善状況とクレジットカードの使用状況との対比	5
2 3	家計の改善状況と家計の一元管理の有無との対比	5
2 4	家計の改善状況と支出のこまめな記録の有無との対比	5
2 5	家計の改善状況と節約への努力の有無との対比	5
2 6	家計の改善状況と無理無駄をなくする努力の採否との対比	5
2 7	家計の改善状況と自分へのご褒美採否との対比	5
2 8	家計の改善状況と結果を数値化する試み採否との対比	5
2 9	家計の改善状況と「入るを量りていずるをなす」試み採否との対比	5
3 0	家計の改善状況と流動費節約、固定費見直し試み採否との対比	5
3 1	家計の改善状況と出来る限り安い物を買う試み採否との対比	5
3 2	家計の改善状況とちよつとの我慢・レベルを落とす試み採否との対比	5
3 3	家計の改善状況となるべく買わない試み採否との対比	5

34	家計の改善状況と引落で支払っているものの把握の試みとの対比	5
35	家計の改善状況と電気製品省エネ採否との対比	5
36	家計の改善状況とエアコンの設定温度下げる試み採否との対比	5
37	家計の改善状況とシャワーの工夫をする試み採否との対比	5
38	家計の改善状況とエアコンフィルターこまめな掃除の試み採否との対比	5
39	家計の改善状況と待機電力をおさえる試み採否との対比	5
40	家計の改善状況とエアコン室外機への工夫の試みとの対比	5
41	家計の改善状況と冷蔵庫の庫内整理の試み採否との対比	5
42	家計の改善状況と冷蔵庫の容量に関する工夫の試み採否との対比	5
43	家計の改善状況と熱いものを冷ましてから冷蔵庫に入れる試み採否との対比	5
44	家計の改善状況と冷蔵庫の扉開閉に関する工夫の試み採否との対比	5
45	家計の改善状況と冷蔵庫のパッキンに関する工夫の試み採否との対比	5
46	家計の改善状況と冷蔵庫の設定温度に関する工夫の試み採否との対比	5
47	家計の改善状況とエコ電球採用の試み採否との対比	5
48	家計の改善状況と電球のワット数に関する工夫の試み採否との対比	5
49	家計の改善状況と明かりをつける時間に関する工夫の試み採否との対比	5
50	家計の改善状況とテレビの映像調整に関する工夫採否との対比	5
51	家計の改善状況とテレビのインチ数を下げる試み採否との対比	5
52	家計の改善状況とテレビを見る時間を減らす試み採否との対比	5
53	家計の改善状況とテレビの待機電力を減らす試み採否との対比	5
54	家計の改善状況とテレビの主電源を切る試み採否との対比	5
55	家計の改善状況と洗濯機のコース切り替えの試み採否との対比	5
56	家計の改善状況と洗濯物の量を適正におさえる試み採否との対比	5
57	家計の改善状況と乾燥機に入れる量に関する工夫採否との対比	5
58	家計の改善状況と脱水をしてから乾燥機に入れる試み採否との対比	5
59	家計の改善状況と乾燥機のフィルター掃除の試み採否との対比	5
60	家計の改善状況と電気コタツへの工夫の試み採否との対比	5
61	家計の改善状況と炊飯器の保温機能不使用の試み採否との対比	5
62	家計の改善状況と掃除機のこまめな切り替えの工夫の試み採否との対比	5
63	家計の改善状況と温水便座の温度下げの工夫の試み採否との対比	5
64	家計の改善状況と温水便座の電源切りの工夫の試み採否との対比	5
65	家計の改善状況と温水便座のふたを閉める工夫の試み採否との対比	5
66	家計の改善状況と夜間電力使用の試み採否との対比	5
67	家計の改善状況と電気アンペア適正化の試み採否との対比	5
68	家計の改善状況と炊飯器の有効利用の試み採否との対比	5
69	家計の改善状況と掃除機とほうきの併用の試み採否との対比	5
70	家計の改善状況とシャワー時間短縮の試み採否との対比	5
71	家計の改善状況と風呂追い炊きをしない試み採否との対比	5
72	家計の改善状況と風呂のふたをきちんとする試み採否との対比	5
73	家計の改善状況と煮物への落とし蓋採否との対比	5

7 4	家計の改善状況とゆでるときにふたをする試み採否との対比	5
7 5	家計の改善状況となべ底をコンロの大きさに合わせる試み採否との対比	5
7 6	家計の改善状況と給湯器のお湯で湯沸しする試み採否との対比	5
7 7	家計の改善状況と熱源の有効利用の試み採否との対比	5
7 8	家計の改善状況とガスファンヒーターの温度を下げる試み採否との対比	5
7 9	家計の改善状況と食器洗い機採用の試み採否との対比	5
8 0	家計の改善状況となべ底の水滴を拭く試み採否との対比	5
8 1	家計の改善状況とガスを中火で使う試み採否との対比	5
8 2	家計の改善状況と風呂の水を日中貯める試み採否との対比	5
8 3	家計の改善状況と冬でも水での食器洗いをする試み採否との対比	5
8 4	家計の改善状況と節水こま採用の有無との対比	5
8 5	家計の改善状況と水道時間を短くする試み採否との対比	5
8 6	家計の改善状況とシャワーの時間を短くする試み採否との対比	5
8 7	家計の改善状況と貯め水洗いをする試み採否との対比	5
8 8	家計の改善状況と無洗米採否との対比	5
8 9	家計の改善状況と水の出しっぱなしをやめる試み採否との対比	5
9 0	家計の改善状況と洗車の仕方の工夫採否との対比	5
9 1	家計の改善状況と風呂の残り湯活用の試み採否との対比	5
9 2	家計の改善状況とコップに水をためて歯磨きする試み採否との対比	5
9 3	家計の改善状況と米の研ぎ汁活用の採否との対比	5
9 4	家計の改善状況と浴槽にペットボトルを入れる試み採否との対比	5
9 5	家計の改善状況と食卓を貧しくしない試み採否との対比	5
9 6	家計の改善状況と食費を把握する試み採否との対比	5
9 7	家計の改善状況とチラシチェックの試み採否との対比	5
9 8	家計の改善状況とまとめ買いの試み採否との対比	5
9 9	家計の改善状況とアルバイトの工夫の試み採否との対比	5
1 0 0	家計の改善状況と安い外食探しの工夫の試み採否との対比	5
1 0 1	家計の改善状況と役所の食堂利用の試み採否との対比	5
1 0 2	家計の改善状況と麦茶を自分で作る試み採否との対比	5
1 0 3	家計の改善状況と底値で買い物をする試み採否との対比	5
1 0 4	家計の改善状況とゆでるときにふたをする試み採否との対比	5
1 0 5	家計の改善状況とスーパーを定休日前に利用する試み採否との対比	5
1 0 6	家計の改善状況と生協の共同購入利用の試み採否との対比	5
1 0 7	家計の改善状況とタイムバーゲン利用の試み採否との対比	5
1 0 8	家計の改善状況とフリーマーケット利用の試み採否との対比	5
1 0 9	家計の改善状況と車の急発進をやめる試み採否との対比	5
1 1 0	家計の改善状況とタイヤの空気圧調整の試み採否との対比	5
1 1 1	家計の改善状況と不要のキャリアをはずす試み採否との対比	5
1 1 2	家計の改善状況とガソリン朝入れの試み採否との対比	5
1 1 3	家計の改善状況とタバコアルコールを減らす試み採否との対比	5

1 1 4	家計の改善状況と散髪等を自分でやる試み採否との対比……………	5
1 1 5	家計の改善状況と天日干し活用の試み採否との対比……………	5
1 1 6	家計の改善状況と世帯人数調整済み一人当たり年間所得との対比……………	5
1 1 7	貯蓄の増減と世帯人数調整済み一人当たり年間所得との対比……………	5
1 1 8	生活意識と世帯人数調整済み一人当たり年間所得との対比……………	5
1 1 9	家計の改善状況と配偶者家族関係との対比……………	5
1 2 0	貯蓄の増減と家計簿の記帳の有無との対比……………	5

巻末資料 1 家計調査アンケート(回答数入り)

2 楽しい節約マニュアル

第 1 章 調査の目的と調査の流れ

1 調査の目的

債務整理をしても家計再建にならない。借金はなくなったのに、生活は依然苦しい。こういった相談者が消費生活相談の場面で増加している。

平成 22 年 6 月に貸金業法の完全施行を控え、これまでのような自転車操業はほぼ出来なくなる可能性が高い。

これまでは、比較的緩やかに(大雑把に)しかなされていなかった家計のやりくりを見直し、節約に努めることにより余裕ある家計運営に持ち込まなければ、臨時の出費に対応できない事態が出現することが現実の問題として発生するのである。

しかし、家計運営を見直しするといっても、何から手をつけたらよいのか、他の世帯はどのような工夫をしているのか、さらに言えば、家計再建の提要はどこにあるのか、これらの疑問に答えるのが本手引きの目的である。

2 調査の流れ

① 対象者

今回の調査は、岩手県消費者信用生活協同組合（以下「信用生協」と言う。）の組合員を対象とした。

信用生協に相談に訪れ組合員となった方（貸し付けを受けた方）を悉皆調査の形で500名抽出した。

具体的には、アンケート作成時の1年前（平成20年11月）から遡る形で、500名に達するまで（期間としては1年ほど遡る）対象者をリストアップした。

② 調査の実施

対象者に対し、アンケート（巻末資料1）及び節約マニュアル（巻末資料2）を送付した。

その際、アンケート記入とともに依頼した事項は以下の通り。

○記入はできるだけ、家計を担当している方が行うこと。

○家計収支表については、平成21年11月1ヶ月間の家計の状況を反映した内容で記入すること。

③ 回収率等

12月にアンケートを500通送付して、71通の回収があった。

送付した500通のうち、転居先不明で戻ってきたものが5通あったので、495通を分母として、回収率を計算すると14.32%となった。

第2章 アンケート提出者の実像

1 家族構成

アンケートの提出者71世帯のうち、配偶者のある世帯55、（77.5%）、配偶者なしの世帯が16（22.5%）であった。配偶者なしの世帯のうち、単身世帯は10世帯であった。

2 アンケート記入者

記入者は、配偶者ありの家庭では、夫が35件（49.3%）妻が20件（28.2%）、配偶者なしは16（22.5%）であった。

3 本人の年齢

本人の年齢に関しては、回答者は30代、40代で65%以上を占める状況であった。

	実数	割合(%)
20代	4	5.6
30代	21	29.6
40代	26	36.6

5 0 代	1 4	1 9 . 7
6 0 代	5	7 . 0
7 0 代以上	1	1 . 4
合 計	7 1	1 0 0

4 第1子の就学状況

子供のいる世帯のうち、第1子の就学状況は、小学校以下が半数近くを占めていたが、高校に通っている子供のいる家庭も3割ほどあった。

	実 数	割合 (%)
小 学 校 以 下	1 8	4 8 . 7
中 学 校	6	1 6 . 2
高 校	1 1	2 9 . 7
大 学 以 上	2	5 . 4
(非 該 当 等)	(3 4)	
合 計	3 7	1 0 0

5 職業

記入者本人の職業については、正社員45（63.4%）、非正規社員14（19.7%）、無職3（4.2%）などであった。

6 健康状態

記入者本人の健康状態については、健康65（91.5%）、病気・病弱4（5.6%）、障害1（1.4%）などであった。

7 本人の最終学歴

本人の最終学歴は、高卒が7割、それ以外が1割以下という状況になっている。

	実 数	割合 (%)
中 卒	6	8 . 5
高 卒	5 0	7 0 . 4
専 門 学 校 卒	7	9 . 9
大 卒	6	8 . 5
そ の 他	2	2 . 8
合 計	7 1	1 0 0

8 配偶者の最終学歴

本人と同様、最終学歴は、高卒が7割近く、それ以外が1割前後という状況になっている。

16名は、配偶者がなく非該当となる。

	実 数	割合 (%)
中 卒	5	9 . 1
高 卒	3 7	6 7 . 3
専 門 学 校 卒	8	1 4 . 6
大 卒	3	5 . 5
そ の 他	2	3 . 6

(非 該 当)	(1 6)	
合 計	5 5	1 0 0

9 現在の住居の状況

現在の住居の状況については、持家が約5割となっている。

	実 数	割合 (%)
持 家	3 6	5 0 . 7
公 営 住 宅	8	1 1 . 3
賃 貸	2 6	3 6 . 6
そ の 他	1	1 . 4
合 計	7 1	1 0 0

10 現在の自動車保有状況

現在の自動車の保有については、1台の世帯が約4割、2台の世帯が4割を下回る程度、非所有は5%程度しかないことが分かる。3台以上所有している世帯の所有台数を仮に3台として、平均所有台数を出すと、1世帯当たり1.57台となる。

	実 数	割合 (%)
1 台	3 1	4 3 . 7
2 台	2 7	3 8 . 0
3 台 以 上	9	1 2 . 7
非 所 有	4	5 . 6
合 計	7 1	1 0 0

11 家族の収入の把握状況

家族の収入の把握状況に関しては、該当者の8割以上が大体把握しているという結果となり、把握していないという割合は1割未満にとどまった。

	実 数	割合 (%)
大 体 把 握	5 1	8 3 . 6
家計に入る分だけ	5	8 . 2
把握していない	5	8 . 2
(非 該 当)	(1 0)	
合 計	6 1	1 0 0

12 家族の支出の把握状況

家族の支出の把握状況に関しては、収入と異なり、該当者の6割程度の人が大体把握しているという回答となり、収入の把握状況より、2割も下回る結果となった。また、家族の支出を把握していない割合は、収入を把握していない割合の倍となっている。

	実 数	割合 (%)
大 体 把 握	3 8	6 2 . 3
家計に入る分だけ	1 3	2 1 . 3
把握していない	1 0	1 6 . 4
(非 該 当)	(1 0)	
合 計	6 1	1 0 0

1.3 夫婦の家計管理タイプ

夫婦の家計管理に関しては、いくつかのタイプを提示し、どれに該当するかを回答してもらった。その結果、妻がすべての収入を管理してやりくりしている世帯が31（57.4%）、夫婦がすべての収入を共同で管理している11（20.37%）、夫がすべての収入を管理と夫が妻に収入の一部を渡し、妻がその分だけを家計費として管理しているがそれぞれ4（7.40%）となどとなった。

1.4 公的年金の加入状況

滞納、未加入は少ないが存在する。免除の割合が高い。

	本人		配偶者	
	実数	割合	実数	割合
給与天引き	55	83.3	32	62.7
自分で納入	2	3.0	3	5.9
免除	5	7.6	8	15.7
滞納	1	1.5	2	3.9
未加入	0	0	1	2.0
不明	2	3.0	2	3.9
無回答	1	1.5	3	5.9
合計	66	100.0	51	100.0

1.5 水道料金の支払い

水道料金に関しては、7割以上の方が正常に支払い、現に滞納中という世帯は、わずか1%にとどまった。

	実数	割合 (%)
正常	52	74.3
滞納しがち	11	15.7
滞納中	1	1.4
免除	0	0.0
その他	6	8.6
無回答	(1)	
合計	70	100

1.6 電気料金の支払い

電気料金に関しては、水道料金よりも正常に支払いをしている方の割合が高かった。

	実数	割合 (%)
正常	59	84.3
滞納しがち	8	11.4
滞納中	0	0.0
免除	0	0.0
その他	3	4.3
無回答	(1)	
合計	70	100

17 ガス料金の支払い

ガス料金を正常に支払いしている世帯は、9割近かった。

	実数	割合 (%)
正 常	55	87.3
滞 納 し が ち	3	4.8
滞 納 中	1	1.6
免 除	0	0.0
そ の 他	4	6.4
無 回 答	(8)	
合 計	63	100

18 電話料金の支払い

電話料金に関しては、公共料金中、正常に支払っている世帯の割合が最も高かった。

	実数	割合 (%)
正 常	63	90.0
滞 納 し が ち	5	7.1
滞 納 中	0	0.0
免 除	0	0.0
そ の 他	2	2.9
無 回 答	(1)	
合 計	70	100

19 固定資産税の支払い

固定資産税に関しては、正常に支払われている割合が4割以下となっている。

	実数	割合 (%)
正 常	24	66.7
滞 納 し が ち	3	8.3
滞 納 中	3	8.3
そ の 他	6	16.7
非 該 当	(29)	
無 回 答	(6)	
合 計	36	100

20 所得税・住民税の支払い

固定資産税と異なり、所得税・住民税に関しては、正常に納付している世帯の割合が8割を超えている状況となっている。

	実数	割合 (%)
正 常	58	86.6
滞 納 し が ち	6	9.0
滞 納 中	2	3.0
そ の 他	1	1.4
非 該 当	(3)	

無 回 答	(1)	
合 計	6 7	1 0 0

2 1 家賃の支払い

住まいの基盤を確保する意味から、他の公共料金と同様正常な支払いの割合がきわめて高くなっている。

	実 数	割合 (%)
正 常	3 1	8 8 . 6
滞 納 し が ち	3	8 . 6
滞 納 中	1	2 . 9
非 該 当	(3 6)	
合 計	3 5	1 0 0

2 2 家計簿の記帳状況

記帳していない世帯が6割近い。しかし、全世帯を対象とした統計では、家計簿の記帳率が2.2%。すなわち、78%が記帳していないという事実からすれば、今回の調査対象となった世帯は、家計簿の記帳率は非常に高いこととなる。

	実 数	割合 (%)
記帳している	3 1	4 3 . 7
記帳していない	4 0	5 6 . 3
合 計	7 1	1 0 0

2 3 クレジットカードの保有状況

信用生協の組合員になった理由が債務整理資金の借りにあった場合、整理と同時にクレジットカードの解約を指導している。この事情を参酌すると、カード保有者が多いように思われる。

	実 数	割合 (%)
保有している	2 7	3 8 . 0
保有していない	4 4	6 2 . 0
合 計	7 1	1 0 0

2 4 クレジットカードで買い物をすることへの抵抗感

クレジットカードに対する抵抗感は6割以上の方に見られる。

	実 数	割合 (%)
抵 抗 あ り	3 9	6 5 . 0
抵 抗 な し	2 1	3 5 . 0
無 回 答	(1 1)	
合 計	6 0	1 0 0

2 5 どのようなものをクレジットカードで購入しているか

数万円以上の高額なものをクレジットカードで買う割合が4割以上と最大を占めた。

	実 数	割合 (%)
ほ と ん ど 全 て	1	4 . 0
数万円以上の高額なもの	1 0	4 0 . 0

数千円以上の比較的高額なもの	3	12.0
その他	11	44.0
非該当等	(46)	
合計	25	100

2.6 相談時と比較しての家計の改善状況

家計の改善については、約半数の家庭でよくなったと回答し、他方3割弱の家庭で悪くなったと回答している。

	実数	割合 (%)
とても良くなった	11	15.5
やや良くなった	24	33.8
同じ程度	16	22.5
やや悪くなった	14	19.7
とても悪くなった	6	8.5
合計	71	100

2.7 相談時と比較しての配偶者や家族関係

概ね、5割近くの世帯で家族関係が良くなったとしており、債務整理が家族関係の改善にもたらす効果も看過できないものがある。

	実数	割合 (%)
とても良くなった	13	21.3
やや良くなった	16	26.2
同じ程度	24	39.3
やや悪くなった	4	6.6
とても悪くなった	3	4.9
無回答	1	
非該当	(10)	
合計	61	100

2.8 家計の状況が良くなった理由

これに関しては、複数回答で、収入が増えたとした方の主な理由は、給料が増えた(5)、働く人が増えた(4)、年金・手当が増えた(3)などの回答があった。

また、支出が減ったとした方の中の主な理由は、借金が減った(28)、世帯員が減った(5)、医療費・食費が減った(それぞれ4)という回答があった。

2.9 家計が悪くなった理由

これに関しては、複数回答で、収入が減ったとした方の主な理由は、給料が減った(15)、年金・手当が減った(2)などの回答があった。

また、支出が増えたとした方の中の主な理由は、食費が増えた(5)、教育費が増えた(4)、借金が減った(3)という回答があった。

3.0 相談時と比較しての貯蓄の増減

貯蓄が増えたことが家計改善につながっているとは必ずしもいえないかもしれないが、家計がとても良くなったとしている世帯とほぼ同様の割合になっている。

	実数	割合 (%)
増えた	12	17.4
変わらない	42	60.9
減った	15	21.7
無回答	(2)	
合計	69	100

3.1 貯蓄を増やすために注意したこと

複数回答で、必要な分を支出してから残った額を貯蓄するようにした(5)、500円玉貯金を実践した(3)、天引きで貯蓄するようにした、積立通帳を作るようにした(それぞれ2)となっている。

3.2 貯蓄が増えなかった理由

これも複数回答であるが、支出が増加したから(10)、収入が減少したから(8)、などとなっている。

3.3 相談時と比べた変化

家族の収入を一元管理するようになったという家庭が23(40.4%)、支出をこまめに記録するようにした家庭が35(60.3%)、節約に努めるようにした家庭が63(92.6%)となっている。

3.4 相談時と比べて支出が増えた項目

複数回答であるが、医療費(14)、教育費(12)、食費・光熱費(それぞれ8)、交通費(7)などとなっている。

3.5 今後の生活のうえで不安に感じていること

複数回答で、貯蓄などのたくわえがないこと(45)、もしものときに借入先がないこと(34)、子供の教育資金(26)、老後の生活資金(25)、病気や怪我の医療費(22)、解雇や失業による収入減少(16)などとなっている。

3.6 暮らし向きについて総合的にどのようにみているか。

厚生労働省の国民生活基礎調査(2008年)を参考にすると、苦しいという世帯が全国平均より12ポイント近く多いというところに特色がみられる。

	実数	割合 (%)
苦しい	22	31.0
やや苦しい	27	38.0
普通	17	23.9
やや良くなった	4	5.6
ゆとりがある	1	1.4
合計	71	100

3.7 収入状況

今回の調査世帯の平均年収は、451.1千円となった。今回は、子供のいる家庭が多かったことを考えると、岩手の所得水準の低さが明らかになる。

実数単位：千円

	実数	割合 (%)

今回調査世帯	451.1	100.0
全世帯	556.2	123.3
高齢世帯	298.9	66.3
児童のいる世帯	691.4	153.3

本調査以外の数字は、厚生労働省 2008 年国民生活基礎調査により、全国の世帯を対象に調査した結果である。

38 世帯人数調整済み一人当たり世帯所得(年間所得/世帯人数の平方根)

世帯人数は多様であるため、世帯所得は世帯人数で調整する必要がある、その際一般的にとられる方法は、年間所得を世帯人数の平方根で除するやり方である。この結果は、一人当たりの平均年間所得は 250 万 2 千円となった。

	実数	割合 (%)
100 万円未満	3	4.2
100 万円台	18	25.4
200 万円台	25	35.2
300 万円台	15	21.1
400 万円台	3	4.2
500 万円以上	1	1.4
無回答	6	8.5
合計	71	100

39 自由回答

1	職場がかわって給料が減り大変です。
2	とにかく、毎日節約を心に決めて頑張っています、なかなか思うようにはならないのが現実です。しかし、しる向きにならず常に毎日を楽しみ、節約も楽しく、と思っこれからも頑張りたいです。
3	今年の三月より主人が二交代から七時間勤務(昼のみ)になり収入が半減して大変である。七月に〇銀より仕送りの分としてまた 60 万円程度借りる。大学生のも就活でバイトが思うようにできず送金も増えて大変である。八月に義父が死にかといっ年金よりのお金はもらってないし)お金の面でも大変でどうしようと思っています。今度より年収の三分の一しか借りられないとなると生活できるのか？学生のいるところはそれなりの補助があってもいいのに…。(年収を見ればこれでは無理)後で返済するのはいいから、貸してほしい四年間は！！死んだら保険で返すから。家計収支は書いたところで毎回赤！！書くのも恥ずかしい。年末で忙しいので収支表は勘弁してくれー。

4	<p>これまでは前月昨年の同月の家計簿を参考に予算を立てていました。家庭内で無駄の判断・目安がつけにくかったので、信用生協さんに改善提案をしていただけるのが大変ありがたいと思いました。実際家計の現状が提示した金額と異なっていたこと、夫婦二人だけ(犬二匹)の家族でも親の介護見舞いにもなう不定額の支出だったりやりくりが難しいものでした。勝手ながら家計の診断は家計に詳しい方、または女性のほうが良いと思いました。信用生協さんがきっかけになりお蔭様で見通しのある日々を過ごすことができました。ありがとうございました。</p>
5	<p>生協さんのおかげで気持ち的に生活できるようになりました。いざ生活するうえで、給料がその月によっていいときもあれば様々です。目に見えない面で、お金がかかり苦しいときがあります。生活するうえで金銭面に余裕があればいいのですが、毎日ぎりぎりの生活です。</p>
6	<p>返信が遅くなり申し訳ありませんでした。今後とも宜しくお願い致します。</p>
7	<p>父からの援助がある為とてもたすかっている。毎月の生協さんへの支払い金額が多い為、大変ですががんばりたいと思います。</p>
8	<p>年はとっていくのに、給料はふえないし、ボーナスは減るしでこの先不安…。</p>
9	<p>最近、『年収 200 万円からの貯金生活宣言』(横山光昭著)という本に出会い、様々な主婦向け雑誌に家計の改善策を捜し求めていた私はついに求めていた答え発見！！と感動しました。お金をいくら使ったかではなく、何に使ったか！それは消費なのか、浪費なのか、投資なのかという分類。お金は一生、付き合いがいかなければならない相棒です。現在はちょっと苦しいですが、絶対乗り越える自信があります。それは困難に思えることにも目をそむけず、一つ一つ丁寧に原因を見つめ改善し、前進していくことを生活苦のおかげで学ぶことができたからです。出会うことすべてがありがたいです！</p>
10	<p>いろいろな税金が高すぎると思いますが、中でも車の維持費は高すぎると思います。特にこだわりのターボ車のためガソリンが減るのが他人に比べて早いです。生活が苦しいわけではありませんが、ガソリンの減りが気になるところです。</p>
11	<p>以前は夫婦で給料からいくらと決めて出し合い、残りは自由にしていましたが、今は私が全て管理しています。そのほうがムダ使い(パチンコ)にならないので、初めから、こうしておけば信用生協さんにお世話になることもなかったのかなと思っています。まだ支払いが残っていますが、はやく、すっきりさっぱり借金のない生活になるよう、これからもがんばります！※同じ借金でも、今は家のローンもあります。でもこっちはローンはムダではないのでいやな感じはしないです。不思議ですが。</p>
12	<p>借金を全額返済してから子供を出産できれば気持ちの面でもベストでした。なかなか貯金というものができないのが将来の不安へつながります。</p>
13	<p>こんなことを相談するのは筋違いだとは思いますが、誰にも相談できず悩んでおります。去年の三月にオール電化・エコキュートにしましたが、電気料が一向に減りません。どうしたものかと悩んでいます。だまされたみたいな気がしてなりません。見積書もなく、電気料金が安くなくエコキュートのほうも金額も教えず、空気と電気ですすめだとは言っていました。三月いっぱいキャンペーン中とのことで急いで契約させられたみたいです。クッキングヒーターも魚焼きに週二回位、あとはぜんぜん使いません。電気も節電、テレビも夜二、三時間でどうして料金がかかるのか不思議です。</p>

14	世帯主と家族の財布が別なので記入できませんでした。サポートセンターでの相談者は、息子(長男)ですが、転職を二回しています。現在無職で、アルバイトをしているので、生協への返済分は確保できていますが、定職について、安定した生活を送ってほしいと願っております。相談者への指導をお願い致します。
15	毎月の決まった収入内で、いかにうまくやり繰りするか考えながら生活しています。今の不況で収入が大きく減り苦しい状況になりました。しかし、がんばって乗り越えていこうと思いながら毎日生活しています。
16	別紙「家計収支表」は2009年11月の内容。上記問32は最近1ヶ月ということで2009年12月の内容となっております。夫は2009年9月-11月中旬失業の後、就職。夫の12月の収入は11月後半の半月分のもので。また今回の夫の就職は2010年1月末までの短期採用の為、その後の収入の目処はないのが現状。非正規雇用世帯の家計はこのように一貫性がなく、そこに未払い金等が重なると管理自体が複雑化する傾向があるかと思われます。
17	夫は年金を払っていないのでもらえないと思うが収入がなくなったら生活していけない。生協さんからローンを借りられ助かり生活も息つく所だったのに・・・病気(ガン)になり、何が起ころか全く予想ができないですね。節約マニュアル参考になりました。
18	利率が高いもっと安くしてほしい。
19	信用生協さんから車ローン代を借入れ、毎月21,965円支払っているが、今高校生と中学生への支出をきりつめている為、私服やクラブ費がキツイ!! 毎月の支払を少なくし、回数を増やして(長く支払う)の方法への変更はできないのか・・・と考えています。又長女が高校に入学するので本当に公立高校の授業料無料になるのであれば幸い。ただ、入学資金をどうしたらよいかと頭を痛めています。
20	貯蓄をしたい。
21	いつもお世話様です。主人が残した借金(農業機械など)が多かったので今までゆとりもなく三年間過ごしてきました。あと一年くらい頑張ればなんとか完納できます。
22	まず生協さんにお世話になったおかげで借入れ先がない私共は娘の結婚式、車(中古)の購入などができ、自宅を離すことなく生活できる事に感謝いたします。担当の〇〇様(北上)には、特にお世話になり、ありがとうございました。これからは、気を今まで以上に引きしめ、前向きに生活し、借入返済後の生活を夢見ながら、頑張っていこうと家族とも話しております。
23	H.21年一月に父が亡くなり、葬儀費用、各法事等出費が多い一年でした。結果的には借入することなく終了できました。ただ、ローン、信用生協の返済が遅れたときもありましたが今年の分は返済できました。来年は主人が退職しましたので収入面で変化がありますので家族で話し合っただけで家計を守りたいと思います。

